

第5回 北いわてSDGs miraiカフェについて（報告）

一戸町 政策企画部 政策企画課

第5回 北いわてSDGs miraiカフェ

日時：令和5年1月29日（日）13:30～16:00

場所：一戸地区センター 2階 大会議室

主催：一戸町 共催：環境学習交流センター 協力：いわてSDGsカフェ実行委員会

内容：

- ①岩手銀行のSDGsの取組について
- ②サイクルラックについて
- ③北海道再エネ先進地視察について
- ④『暮らしやすいまちとは、どんなまち？』
についての意見交換
- ⑤北いわてSDGs miraiカフェのこれから

参加者：町内外から28名



参加者が普段どんな活動をしているか自己紹介

①岩手銀行のSDGsの取組について (一戸支店 照井 崇宏さん、鈴木 卓雄さん、二戸支店 鈴木 樹里さん)

県内自治体とのカーボンオフセット・クレジット販売に関する連携や、ゼロボード、脱炭素経営に取り組む顧客向けのいわぎん脱炭素応援ローンについて紹介した他、町内でSDGs宣言を策定している企業についても紹介しました。働きやすい職場環境についてもご自身の経験から語っていただきました。



自身の取組を熱心に語りました。



SDGsの取組を紹介する鈴木さん

②サイクルラックについて (一戸高校3年 山火 教平さん)

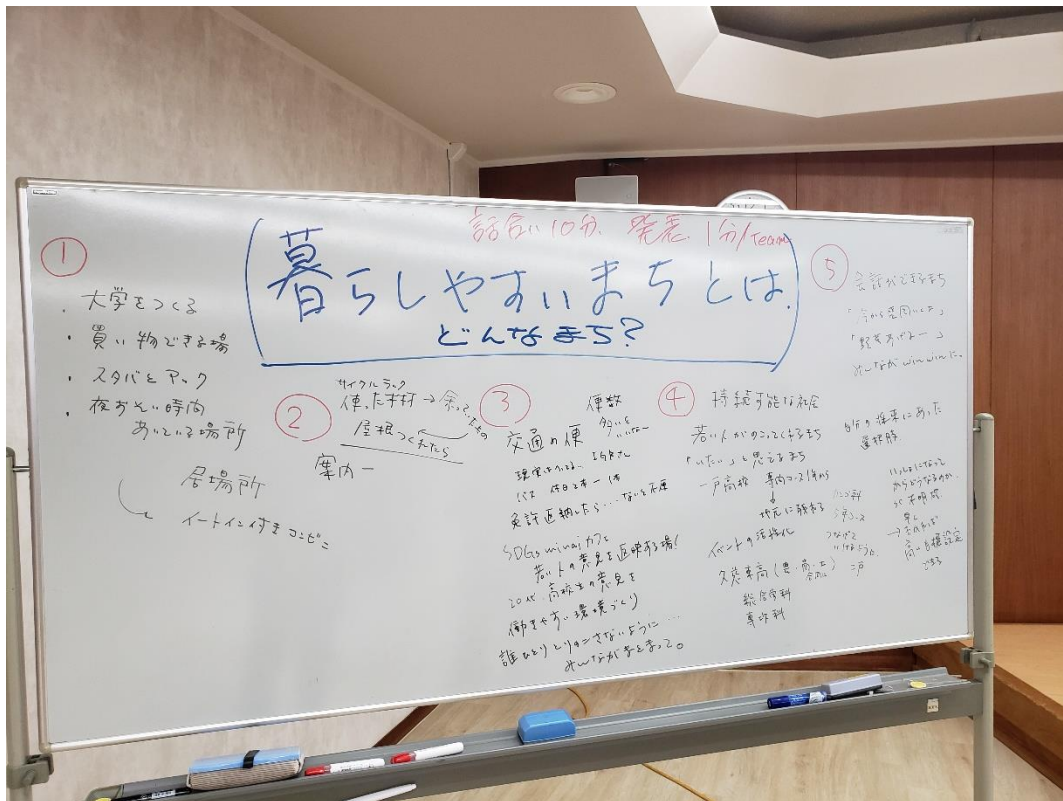
町内で開催したSDGsについて学ぶワークショップがきっかけで始めた、サイクルラックの設置に関する取組について紹介しました。一緒に参加していた(株)柴田産業の社長さんの協力のもと町内5箇所に設置し、いわてサイクルステーションに登録されました。

③北海道再エネ先進地視察について（一戸町役場政策企画課）

町が目指す地域内エコシステムの概要と、北海道上川町・下川町への視察の報告、今後の課題点について紹介しました。視察では、町内で熱利用を進めるために、チップ製造工場で乾燥チップやおが粉の製造をするなど、地域内で町産材とお金が循環する仕組みについて学びました。



上川町のチップ製造施設



④『暮らしやすいまちとは、どんなまち？』についての意見交換

- ・高等教育を受けられる環境が整備されているまち
- ・放課後に集うことができる居場所があるまち
- ・屋根付きの利用者に優しいバス停のあるまち
- ・若い人の意見を取組に反映できるまち
- ・交通の便が良いまち
- などなど

短時間で多くの意見が出されました。

⑤北いわてSDGs miraiカフェのこれから

これまでの北いわてSDGs miraiカフェでは、世界遺産に登録された御所野遺跡があるまちとして、縄文時代の持続可能な暮らしに着目して、SDGsについて考えてきました。限りある資源をどのように活用して生活していたのか、現代にも受け継がれている資源、技術にはどのようなものがあるのか、実際に遺跡内を散策しながら参加者同士で意見を交わしました。

今後は、縄文時代から受け継がれてきたこのまちに住んでいる私たち自身の手で、町民、役場が一体となったまちづくりを進め、持続可能なまちとして後世に受け継いでいくための取組を進めていこうと考えています。

町への政策提案、参加者同士での交流による活動の活性化などを目的として、年間を通して6回程度のカフェを開催する予定です。